

商店街視察で聞いた活性化のポイントを紹介！

【企画】地域活性化まちづくり検討部会【日程】H23.2.19

地域活性化まちづくり検討部会が企画した、品川区の2つの商店街視察の概要をご紹介します！

戸越銀座
銀六商店街

商店街はいらない??地域の消費者に目を向けることが大切

▲亀井理事長（商店街振興組合）からお話しをいただきました。

現在の主な取り組み

- 「戸越銀座ブランド」開発
～ここでしか買えないもの、地域の成り立ちや由来をブランド化。
- ～地元の人が当たり前知っている良いものを情報発信。

活性化のポイント

- ★地域コミュニティの中心である商店街が廃れることは、地域のアイデンティティがなくなることに繋がる。
- ★地域は、商店街振興組合の加入者だけではない。それ以外の地域住民の元気がなければ意味がない。
- ★消費者のライフスタイルに合わせた営業努力が必要。例えば、一人暮らしや会社勤めで休日や平日の朝早くや夜しか買い物ができない人に対する対応など。

中延商店街

できることから少しずつやってみると見え方が変わる

▲鶴田副理事長（商店街振興組合）からお話しをいただきました。

現在の主な取り組み

- お店の通信簿づくりで、改善点を明確に！
- まちのコンシェルジュの設置。有償ボランティアのため、補助金なしの自主事業で2年続いている。
- 地域（学校や町会）と連携した活動も行っている。

活性化のポイント

- ★あまり先のこと、難しいことを考えすぎると何もできない。まずはやってみる。実際にやらないと意味がない。
- ★できるところから少しずつやることで見え方が変わる。考え方はシンプルに。
- ★楽しければ続く。できる人が楽しく取り組み始めれば、皆が協力してくれるようになる。

堀切のまちに「ベンチ」が増えている・・・気づきましたか？

最近、堀切のまちに、写真のような「ベンチ」が増えています。これは、昨年度に、協議会が提案した「堀切地区まちづくり構想」を受けて、緑道などの魅力化と、まちの回遊性づくりの一環として設置されているものです。（現在、7箇所にベンチを設置）

お散歩の途中、世間話をしながら、帰宅途中など、皆さんも、気軽にまちのベンチに腰かけみてください。いつもと違った堀切が見えてくるかもしれません。



このベンチは、工事費用を節約するため、外部に発注せず、道路保全事務所の職員の皆さんが設置してくれています！！

～堀切地区のまちづくりに関する問い合わせは、下記にお願い致します～



堀切地区まちづくり推進協議会事務局

葛飾区 都市整備部 街づくり推進課（石田、小野田）
代表 03-3695-1111（内線 2508）
直通 03-5654-8391

堀切地区 まちづくりニュース

第12号 平成23年3月

発行：堀切地区まちづくり推進協議会

【お知らせ①】本ニュースは3月号ですが、地震による影響で、配布日が4月になることがあります。ご了承ください。
【お知らせ②】紙面が限られるため掲載図版が小さくなる場合があります。ご了承ください。なお、本ニュースに掲載した図版や関係資料等は「堀切地区センター」で4月以降閲覧可能です。興味のある方はぜひご覧ください。

第3回「堀切地区まちづくり推進協議会」(3/18)を開催し、今年度の活動成果を確認しました！

■ 概要

推進協議会の発足から1年がたちました。3月18日に今年度最後の協議会を開催し、3つのテーマ別検討部会それぞれの今年度の活動成果、そして来年度の取り組みを全体で確認しました。



推進協議会の当日の様子

詳細は2～3ページへ

【質問①】堀切地区のまちづくりってどのように進んでいるの？



堀切地区では、「橋梁架替をまちづくりにどのように活かすか」「活性化した元気な堀切をどのようにつくるか」「災害に強いまちをどのようにつくるか」といったテーマを住民自らが考え、その将来像を描くために、町会・商店街・住民有志により「堀切地区まちづくり検討協議会」を立ち上げ、約4年間かけて話し合ってきました。その成果は「堀切地区まちづくり構想」としてまとめられ、平成22年4月8日に葛飾区長に提案しました。そこで、現在は、葛飾区と協力しながら、構想で示された将来像の実現に向けて、具体的な活動や計画づくりに取り組んでいます。

【質問②】「堀切地区まちづくり推進協議会」って何？



構想の提案後の今年からは、まちづくりを具体的に推進していくことが目的となります。そこで、昨年までの「検討協議会」を「推進協議会」として一新し、今年から活動をスタートしました。推進協議会では、3つのテーマ部会を設け、活発に話し合い、活動をしています。

堀切地区まちづくり

メンバー大募集！！

「堀切地区まちづくり推進協議会」は、どなたでも参加できます。どんなことをやっているのか知りたい方は、まずは、気軽にご参加ください！詳しいことを知りたい方は、4ページ下の事務局までご連絡ください！

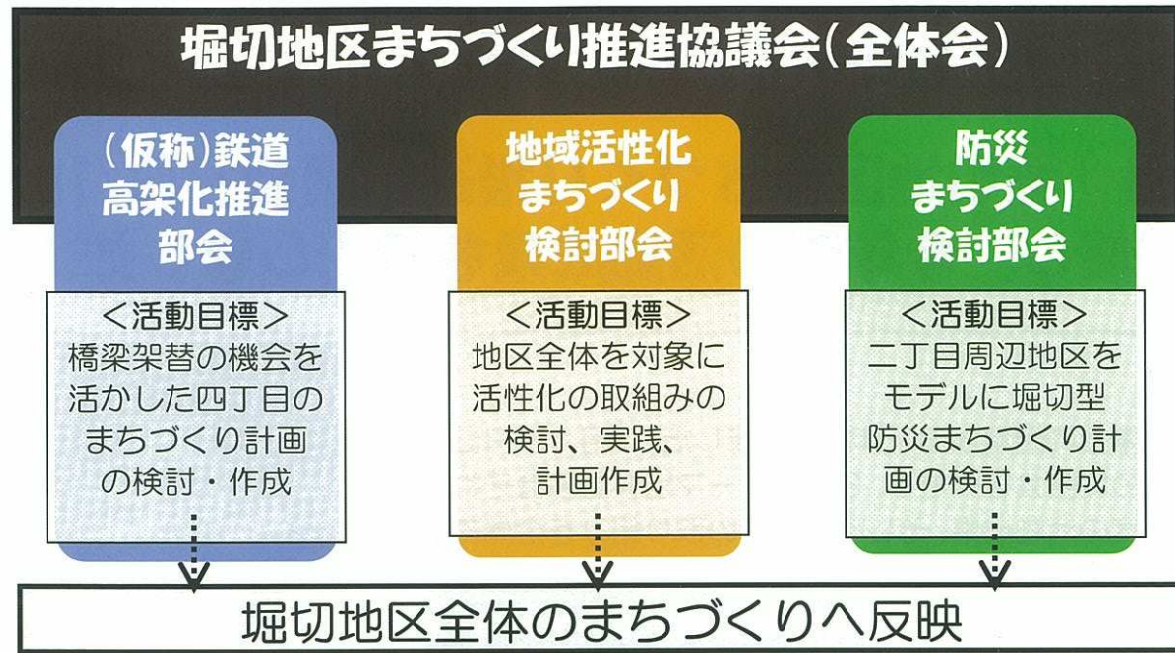


意見やアイデアをまとめて1つの成果をつくりていく様子

今年度の各部会の活動成果報告

「堀切地区まちづくり推進協議会」では、3つのテーマ別検討部会がそれぞれ目標を持って活動しています。ここでは、今年度の活動成果をご報告します。

<現在の堀切地区のまちづくりの推進体制>



防災まちづくり検討部会

■ 今年度の取り組み経緯

今年からは、堀切の特性を活かした防災まちづくりを進めていくため、「防災まちづくり計画」の作成に向けて取り組みを開始しました。防災まちづくりでは「防災道路」「建物」「公園・広場」をどのように整備していくかがポイントになります。

そこで、今年は「防災道路」に焦点を絞り、検討しました。

■ 今年度の成果～防災道路の課題図を作成

防災道路とは、一般的に、消防車が円滑に通れる6m以上の道路のことを言います。

まずは、今年度実施した防災に関する専門調査（広域調査）の結果をもとに、堀切の防災道路の分布状況を把握し、気になる箇所をピックアップしました。その上で「防災道路確認まちあるき」を行い、現地で実際に課題を確認しました。

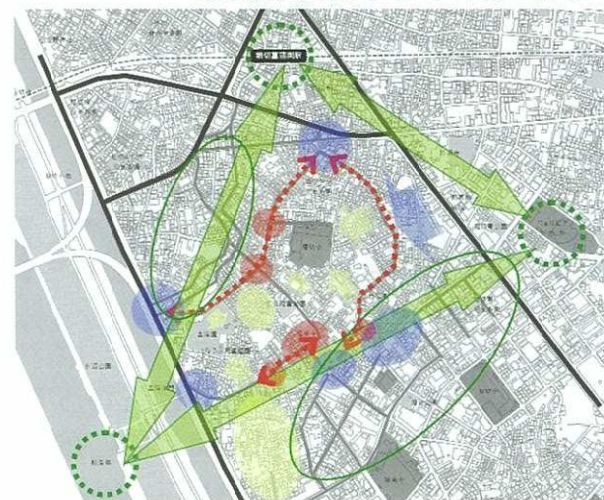
その成果を「防災まちづくり課題図（防災道路）」としてまとめました。

■ 来年度の取り組み

来年度は、防災道路に引き続き、「建物」「公園・広場」の課題図を作成するとともに、堀切のモデルとなる「防災道路」の道路構造を、事例などをもとに検討し、モデル図面の作成を行います。



防災道路確認まちあるきの様子



防災まちづくり課題図（防災道路）

地域活性化まちづくり検討部会

■ 今年度の取り組み経緯

今年度は「活性化まちづくりの実践」を目標に、モデルプロジェクトの具体的な検討を始めました。

活性化の最初のモデルプロジェクトとして、「マップづくり」を設定しました。

■ 今年度の成果～「堀切の基礎マップ」を作成

堀切は、曲がりくねった道や路地が多く、まちがわかりにくい、迷いやすいといった特徴があります。

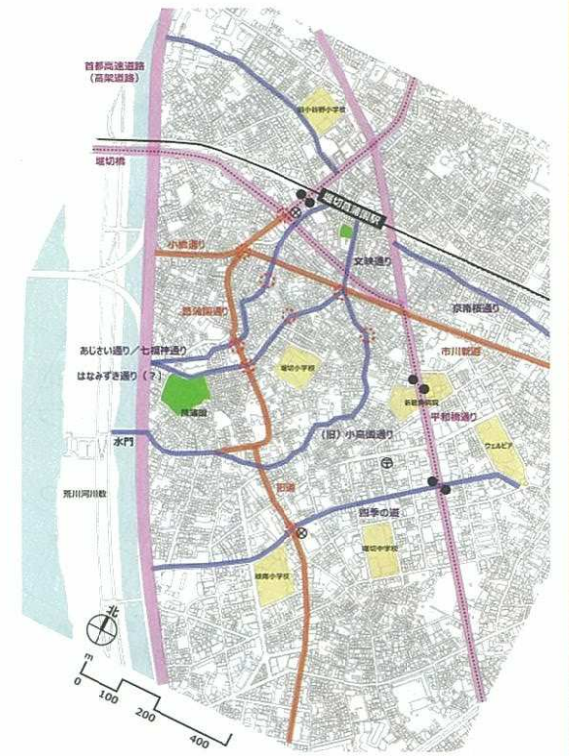
そこで今年度は、堀切のまちの姿を示すベース地図の作成に取り掛かりました。地域の人がよく使う通り、道案内に使う目印や交差点、大きな公共施設、鉄道駅やバス停などを調べ、ピックアップしました。

その成果を地図に書き込み、「堀切の基礎マップ」としてまとめました。

今後は、基礎マップの上に「テーマ別マップ」を重ね、様々な場面に応じて魅力的なマップを発行していく予定です。

■ 来年度の取り組み

来年度は、テーマ別マップ第1弾として、ビューポイントやレトロな界隈、緑が気持ち良い場所などを掲載した「堀切のお勧め見どころマップ」の作成を予定しています。また、このマップを配布・活用したイベントを実施するべく企画中です。



堀切のまちの姿を示す「基礎マップ」

(仮称)鉄道高架化推進部会

■ 今年度の取り組み経緯

9月3、4日に、国土交通省が開催した京成本線荒川橋梁架替事業の説明会を受けて、この事業が「堀切地区まちづくり構想」に配慮した内容で実施されるよう、事業実施に向けた環境影響評価調査計画書への意見書を提出しました。

また、事業を実施する国土交通省荒川下流河川事務所を訪問し、「堀切地区まちづくり構想」の説明と協力の要請を行いました。地元選出の区議会議員にも「堀切地区まちづくり構想」の内容を改めて説明し、堀切地区のまちづくりへの協力を要請しました。



国土交通省への説明の様子

■ 今年度の成果～国土交通省と継続的な意見交換を約束

協議会が提出した環境影響評価調査計画書への意見書は、その後、東京都による審査意見書にもその内容の一部が盛り込まれ、東京都の審査意見書とともに事業者へ提出されました。今後、協議会の意見が実際の調査や事業にどの程度反映されるかは未定ですが、国土交通省荒川下流河川事務所を訪問した際に、国土交通省としては地域の意向を極力反映したいとのコメントがあり、今後も継続的に意見交換をしていくことが約束されました。地元選出の区議会議員とも、超党派で堀切地区のまちづくりに協力すること、今後も定期的に意見交換をしていくことが確認されました。

■ 来年度の取り組み

橋梁架替事業の直接的な影響を受ける堀切四丁目は、事業への対応だけではなく、「防災」「活性化」「バリアフリー」など、様々なまちづくりの課題も指摘されています。

そこで来年度は、橋梁架替事業への対応を継続するとともに、四丁目にお住まいのみなさんにお声がけをして、一緒に四丁目全体のまちづくりのあり方について考えていく予定です。